



キャベツ編



病害虫注意報
2017年10月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

コナガ・黒腐病対策

9月はチョウ目害虫が多発しました。台風通過によりやや少なくなりましたが油断は禁物です。
9月後半は 降雨が続く、黒腐病が発生しやすい条件となっています。適切に防除を行いましょう。

コナガ



25℃の場合、卵～成虫まで約15日という短い期間で成長します。多発すると防除が難しいので予防防除を徹底してください！

【コナガの主な防除薬剤】

薬剤名	希釈倍率	収穫前日数	使用回数
アニキ乳剤	1,000～2,000倍	3日前	3回
アフーム乳剤	1,000～2,000倍	前日	3回
ディアナSC	2,500～5,000倍	前日	2回
スピノエース顆粒水和剤	2,500～5,000倍	3日前	3回
リーフガード顆粒水和剤	1,500倍	7日前まで	3回
フローバックDF(野菜類登録)	1,000～2,000倍	前日まで(発生初期)	-

黒腐病



・生育中、全期間を通じて発生する。
・おもに下葉から発生し、葉縁からV字型の病斑を生ずる。
・降雨により、水孔・傷部より侵入する。

前年11月下旬の発生量は平年並でした。9月の降水量が多かったため、発生に注意してください。

【黒腐病の主な防除薬剤】

薬剤名	希釈倍率	収穫前日数	使用回数
バリダシン液剤5	800倍	7日前まで	5回
アグリマイシン-100	2,000倍	14日前まで	2回
カッパーシン水和剤	1,000倍	7日前まで	4回
キノドーフロアブル	800～1,000倍	14日前まで	3回
Zボルドー(野菜類登録)	500倍	-	-

※バリダシン液剤5はキクに薬害が発生する恐れがあるので、近隣にキク栽培圃場がある場合は飛散しないように注意してください。

※アグリマイシンは、幼苗期、高温期に薬害が出やすいため注意してください。

※結球期以降は薬害が生じるため、無機銅剤(Zボルドー、カッパーシンなど)の使用は控えてください。

☆強い雨や風に当たった後の植物ケアに☆

茶葉から抽出した植物活力資材

カテキンパワー NEW SB-酸素

大雨や強風で植物に傷がついたときに散布！カビの病気を防ぐ農薬との混用がおすすめです☆

1,000倍 葉面散布
(肥料登録:生第91402号)

※ストレプトマイシン剤、キチン、キトサン類、カルシウム剤(ファイトカルを除く)、微量要素剤、鉄など金属を含む
葉面散布肥料との混用は避けてください。井戸水で、鉄分などを多く含む水での使用も避けてください。

土壌に酸素を与えて、根を動かしましょう。液体、200倍もしくは5～10kg/10a灌水処理

ネハリエース

酸素を約1ヶ月間供給します。畦間や株元に散布することで、根の呼吸を助けます。粒状、2～3袋/10a

